



一般社団法人 電波産業会

Association of Radio
Industries and Businesses

No.895 2013年8月26日

ARIBの動き

NICT と ARIB の連携・協力推進に関する第1回連絡会を開催

独立行政法人情報通信研究機構（NICT）と一般社団法人電波産業会（ARIB）が締結した連携・協力の推進に関する協定に基づき、8月9日 NICT 本部（小金井市）において第1回の連絡会を開催しました。

本協定は、研究開発や標準化などにおいて両機関の連携・協力を強化するため、本年3月12日付で締結されたものです。今回は、締結後初めての連絡会であり、両機関から合計36名が参加し、それぞれの組織・体制や活動状況などについて紹介するとともに、今後の協力について活発な意見交換を行いました。



NICT と ARIB の連携・協力推進に関する連絡会（第1回）の記念撮影



NICTの富田理事のご挨拶



ARIBの松井専務理事のご挨拶

今後の国際関連スケジュール（8月26日～9月）

- 8月26日～27日 : 地デジワークショップ（ホンジュラス）
- 8月27日～30日 : AWG-15（タイ）
- 9月2日～3日 : CJK IMT WG#36（韓国）
- 9月3日～11日 : 3GPP TSGs#61（ポルトガル）
- 9月15日～16日 : 3GPP2 SC/OP（中国）
- 9月23日～10月4日 : CISPR オタワ会議（カナダ）

今週のARIB内会議スケジュール（8月26日～8月30日）

- 8月28日(水) : 第207回技術委員会（通信分野）
- 8月29日(木) : 第112回電波利用懇話会
「イノベーション創出に向けた情報通信技術政策について」
総務省 情報通信国際戦略局 田原技術政策課長
- 8月30日(金) : 第6回無線LANシステム開発部会

ARIBからのお知らせ

第89回規格会議開催のお知らせ

第89回規格会議の開催について下記のとおりお知らせいたします。
規格会議委員の皆様のご出席をお願いいたします。

記

- 1 日時 平成25年9月26日（木）午後2時から3時まで
- 2 場所 東海大学校友会館 望星の間（霞が関ビル35階）
東京都千代田区霞が関3-2-5
- 3 議案
 - (1) IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report の改定について
 - (2) IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report の改定について

- (3) LTE-Advanced System ARIB STANDARD の改定について
- (4) 特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備（テレビホワイトスペース帯、1.2GHz 帯）標準規格の改定について
- (5) 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料の改定について
- (6) BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定技術資料の改定について
- (7) その他

総務省からのお知らせ

放送事業用無線局の高度化のための技術的条件

（情報通信審議会からの一部答申）

【平成 25 年 7 月 24 日の総務省報道資料から】

総務省は、本日、情報通信審議会（会長：西田 厚聰 株式会社東芝 取締役会長）から、平成 18 年 9 月 28 日付け諮問第 2023 号「放送システムに関する技術的条件」のうち「放送事業用無線局の高度化のための技術的条件」に関する一部答申を受けました。

1 背景

現在、800MHz 帯、マイクロ波帯、42GHz 帯及び 55GHz 帯において番組伝送用の放送事業用無線局が運用されています。

平成 23 年 9 月に改定された周波数再編アクションプランにおいて、800MHz 帯放送事業用無線局は 1.2GHz 帯及び 2.3GHz 帯に周波数移行が求められています。移行先周波数における技術的条件については、本年 1 月 25 日に情報通信審議会から一部答申を受けていましたが、さらに、高品質な映像をより遠くまで伝送する必要や、できるだけ他の無線局との干渉を避ける必要から、周波数の有効利用を図る技術の導入が求められています。

また、2016 年頃のスーパーハイビジョン（8K）の実用化に向けた放送の規格化や放送機器の開発にかかる取り組みが、放送事業者をはじめ、メーカーなどによって進められており、無線システムを使った放送素材伝送を行う放送事業用無線局（FPU）の開発は機動性や回線設定の柔軟性の確保のため喫緊の課題となっています。このため、大容量伝送を可能とする放送事業用無線局が求められています。

このような状況を踏まえ、放送事業用無線局の高度化に向け、1.2GHz 帯及び 2.3GHz 帯を使用する放送事業用無線局（FPU）の高度化のための技術的条件並びに 120GHz 帯を使用する放送事業用無線局（FPU）の技術的条件について、情報通信審議会情報通信技術分科会放送システム委員会（主査：伊東 晋 東京理科大学 理工学部 教授）において検討が進められてきたところ、本日、情報通信審議会から当該技術的条件について一部答申を受けました。

2 一部答申の概要

一部答申の概要は、[別紙](#) のとおりです。

3 今後の予定

総務省では、一部答申を踏まえ、関係規定の整備を行う予定です。

【関連報道資料】

- ・「[周波数再編アクションプラン](#)」(平成23年9月改定版)の公表【平成23年9月14日】
- ・[700MHz帯を使用する特定基地局の開設に関する指針案及び700MHz帯を使用する移動通信システムの技術基準等に係る省令・告示案に係る意見募集の結果及び電波監理審議会からの答申](#)【平成24年4月11日】
- ・「[放送事業用無線局の高度化のための技術的条件](#)」についての関係者からの意見聴取【平成24年10月16日】
- ・[放送システム委員会報告\(案\)に対する意見の募集\(1.2GHz帯及び2.3GHz帯を使用する放送事業用無線局\(FPU\)の技術的条件について\)](#)【平成24年12月17日】
- ・[放送システム委員会報告\(案\)に対する意見募集の結果](#)【平成25年1月25日】
- ・[放送事業用無線局の高度化のための技術的条件\(情報通信審議会からの一部答申\)](#)【平成25年1月25日】
- ・「[放送事業用無線局の高度化のための技術的条件](#)」についての関係者からの意見聴取【平成25年1月28日】
- ・[放送システム委員会報告\(案\)に対する意見の募集\(1.2GHz帯及び2.3GHz帯を使用する放送事業用無線局\(FPU\)の高度化のための技術的条件について\)](#)【平成25年6月12日】
- ・[放送システム委員会報告\(案\)に対する意見の募集\(120GHz帯を使用する放送事業用無線局\(FPU\)の技術的条件について\)](#)【平成25年6月12日】
- ・[放送システム委員会報告\(案\)に対する意見募集の結果\(1.2GHz帯及び2.3GHz帯を使用する放送事業用無線局\(FPU\)の高度化のための技術的条件について\)](#)【平成25年7月23日】
- ・[放送システム委員会報告\(案\)に対する意見募集の結果\(120GHz帯を使用する放送事業用無線局\(FPU\)の技術的条件について\)](#)【平成25年7月23日】

連絡先

情報流通行政局放送技術課

担当：向井課長補佐、廣江音声計画係長

電話：(代表) 03-5253-5111 (内線 5786)

(直通) 03-5253-5786

FAX： 03-5253-5788

E-mail：broadcast_tech_voice_atmark_ml.soumu.go.jp

(※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しておりますので、ご送信の際は、「@」に変更してください。)

編集後記

ヤンキースのイチロー選手が、日米通算で4,000本安打を達成しました。日本で1,278本(9年間)、米国で2,722本(13年目)での記録達成です。今までに故障者リストに入ったのは、2009年に胃潰瘍による1回だけとのことで、20年以上もケガをせずに野球選手を続けられていることも驚異的です。これからも活躍し続けてほしいと思います。(編集子：Oz)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
http://www.arib.or.jp E-mail arib_news@arib.or.jp